

第1回白井市学校給食センター運営委員会会議録

○会議日程

令和6年9月17日（火）午後1時30分～2時32分

白井市学校給食センター2階研修室

1. 開会
 2. 報告事項
 - (1) 令和5年度学校給食センターの事業実施状況について
 - (2) 学校給食費の現状について
 3. その他
 4. 閉会
-

○出席委員等

委員	柴倉	良男
委員	倉敷	まりえ
委員	青龍	良子
委員	山口	貴弘
委員	永井	英朋
委員	堀江	真由美
委員	宗政	隆雄
委員	尾身	英明
委員	西田	倫代
委員	大村	由香
委員	井上	美幸
委員	増子	直文

○欠席委員等

委員	鳥海	善貴
委員	佐藤	正斉

○出席職員

教育部参事	大高
学校給食センター所長	山本
学校給食センター	宇田川
学校給食センター	高仲
学校給食センター	松村

○事務局 開会

委員及び事務局の自己紹介

本日の会議は、出席委員数が全委員の過半数に達しておりますので、白井市学校給食センター管理規則第3条第2項の規定により会議は成立するものといたします

学校給食センター管理規則第3条第1項の規定により、委員長が会議の議長になることとして、議事の進行を倉敷委員長をお願いいたします。

○委員長 学校給食センター管理規則により議長を務めさせていただきます。

それでは、お手元の議題に沿って進めてまいります。よろしく申し上げます。

初めに、報告事項1、令和5年度学校給食センターの事業実施状況について、事務局から説明をお願いします。

○事務局 それでは、報告事項1、令和5年度学校給食センターの事業実施状況について御説明いたします。

資料の1ページを御覧ください。

まず、1の給食提供数についてですが、令和5年度は、年間で188日提供しました。年間の給食数は94万6,735食で、このうち一般食が94万3836食、アレルギー食が2,899食数となります。また、1日当たりの平均食数は、5,035食。給食提供に係る賄材料費については、2億9,479万5,371円となり、1食当たりの給食費は311.38円となっております。また、令和5年度の給食センターの1食当たりの給食費は、小学校で260円、中学校で310円となっております。

次に、2の第3子以降の給食費無償化事業についてですが、市では、令和4年度に引き続き、令和5年度につきましても、多子世帯の保護者負担を軽減するため、市内の小・中学校に通う第3子以降の学校給食費を令和5年4月分から令和6年3月分まで無償化としました。

対象人数としましては、給食センター分が小学校381人、中学校129人、計510人、453世帯となり、無償化対象金額は2,572万4,670円となります。

桜台小学校分につきましては、申し訳ありません、こちら数字に修正がございます。修正をお願いいたします。小学校が42人、中学校が16人、計58人、世帯が55世帯となります。無償化対象金額は324万5,530円となります。

続きまして、3の物価高騰における学校給食費の負担軽減についてです。

先ほど参事からもお話がありましたとおり、近年の物価高騰によって、学校給食に係る賄材料費についても影響が出ており、様々な物資の価格が上昇している中で、令和5年度につきましても、前年度からさらに4.2%上昇したことから、令和4年度同様、上昇した分につきましては、保護者負担の軽減を図るため、国の地方創生臨時交付金を活用して、市の負担としたところです。

市の公費負担額としましては、こちらの表にありますように、令和4年度分から1年間分繰越した分と、今年度、前年度から比較して4.2%の上昇分、合わせて約683万8千円負担をしております。

続きまして、4の給食の残菜についてですが、こちらは資料の1を御覧ください。

小学校、中学校別で月ごとに、御飯、汁物、主菜、副菜それぞれの残菜率を記載しております。令和5年度の残菜率としましては、小学校の平均が17.7%、中学校の平均が12.1%となっております。前年

度と比較しますと、若干の改善が見られました。

こちらの残菜率につきましては、各クラスの欠席者や急な学級閉鎖などは反映しておらず、そのまま残菜として計算されています。

次に、その残菜を減らす取組として、資料2ページを御覧ください。

まず、毎日の残菜率の把握、それから栄養士による栄養指導、食育通信を発行し、児童生徒だけでなく保護者への食育の啓発、それから食に関する全体指導計画を作成し、学校全体で食育を組織的、計画的に推進。あと、食べ残しが多いメニューについては、調理方法や味付けの工夫など献立の改善などを行っております。

また、ICTを活用した食育の取組として、具体的には、実際に子供たちが体験した、とうもろこしの皮むきや枝豆のさやとりをしたものを調理した映像を見せて、生産者や調理している人の思いを知ってもらい、給食を残さずに食べようという意欲の向上と喫食を促す、そういった取組をしております。

さらに、新メニューの開発というところで、食の選択の幅を広げることができるよう、令和5年度は43品目の新しいメニューを開発したところです。

続きまして、5の給食費の収納状況についてです。

まず、(1)令和5年度の収納状況につきましては、表に記載のとおり、現年分が、調定額2億7,740万1,900円に対して、収入済額が2億7,546万650円となっております。未納額につきましては194万1,250円、徴収率99.3%となっております。

過年度につきましては、調定額が1,292万5,534円、こちらに対して、収入済額が113万1,585円、未納額が1,179万3,949円、徴収率8.75%となっております。

徴収対策としましては、口座振替の推進。給食費の納入については、原則、口座振替で行っており、納付忘れがないようにしております。

また、児童手当からの納付依頼ということで、こちらは、保護者からの同意を得た上で、年3回支給される児童手当から給食費に充当しており、令和5年度は、延べ35人分、21世帯、65万1,090円を徴収しております。

また、滞納者につきましては、個別訪問を3回、21件分実施し、電話での催告についても実施をしております。

以上で、報告事項1について説明を終わります。よろしく申し上げます。

○委員長 ただいまの事務局からの説明について、御意見、御質問等ございましたら、挙手をお願いいたします。

○委員 この給食の無償化事業ですけれども、この財源というのは、これは県の公立学校給食費の補助金から出ているのですか。

○事務局 県のほうから補助金として、対象金額の2分の1を補助で頂いております。

○委員 令和6年3月分まで無償化しました第3子無償化について、今年度はどうですか。

○事務局 令和6年度も引き続き、県の補助金を活用して実施しております。

○委員長 ほかにありますか。

○委員 小学生は1食当たり260円で、中学生は310円で、平均すると311円というのは、これは補助金を活用

しているから、足りているということですか。

○事務局 賄材料の高騰分については、国や県の交付金を活用し公費負担としております。

○委員 1食当たりの給食費311円というのは、実際に掛かった食材費になりますか。

○事務局 こちらの金額は、賄材料費高騰分の国の交付金や第3子無償化の補助金も含めた使える金額となります。

○委員 分かりました。

○委員長 ほかに御意見、御質問ありますか。

○委員長 新メニュー開発43品目、例えば、どんなものがあるのでしょうか。2、3点教えてください。

○事務局 毎月配布している献立表に、子供たちも分かるように、新メニューという吹き出しで入れています。

○委員長 例えば、主菜系が多いとか、デザート系が多いですか。

○事務局 主食、主菜、副菜、満遍なく新しいメニューを考えているという形になります。

○委員長 参考までに、献立表を後で下さい。あと、残菜のほうで、小学校、中学校で、例えば学年ごとの数字というのは出ているのですか。例えば小学校低学年の残菜率。低学年と高学年とでは、全然違うと思うのですよね。

○事務局 残菜率については、学校ごとにこちらで計量しているのですが、学年で1年生がどのくらい残っているとかがというのは、把握はしていない状況です。小さい学校で、第二小学校と白井中学校では、参考までにクラスごとで残菜を量っているのですが、全体の学年ごととかクラスごとというのは、作業上難しいので量っていません。提供量は、低学年、中学年、高学年、小学校だと3段階に分けています。必要な量として、中学年を基本として1.0と考えて、低学年は0.9倍で、高学年は1.1倍というふうに計算して提供しています。その子にもよるのですが、食が細いお子さんにしてみれば、1食分の給食はちょっと多めの量かも知れません。発達に応じて必要な量をこちらから出しています。集団給食では、個に応じた量というのは対応できないので難しいです。残菜は、そのように量っております。

○委員長 その白井中のデータ、残っているのであれば、見せてください。

ほかにありますか。

○委員 残菜の話だと、一番残菜が少ないのは3月で、多いのが10月、5%ぐらい違いがあるのですけれども、この振れ幅は、どういう原因なのか。ロスが少ない、残すメニューが影響しているのか。

○事務局 恐らくなのですが、夏場、暑くて食欲がないとか、あとは、運動会とか体育祭の練習で食欲が落ちるとか、そういったところも影響しているかなというふうには思います。

○委員 分かりました。

○委員長 ほかにありますか。よろしいですか。

○事務局 補足で、こちらは令和5年度の状況ですので、10月は、まだコロナの影響があり、欠席者数、学級閉鎖等はそのままカウントしている状態なので、増えている状況となっています。

○委員長 今回、例えば残菜の集計表を作ったときに、そういった考察が分かれば、下のほうに書いていただけると助かります。

○事務局 分かりました。

○委員長 ほかにありますか。

○委員 学校給食費の徴収について、個別訪問を21件、電話による催告、これをした結果、改善されたのは、どのぐらいあるのでしょうか。

○事務局 すみません、手元に資料がないので、どれぐらい徴収できたかはお答えできないのですが、この中でも、個別訪問をしてもいっしょにいない方もいるので、そういった方たちには、お手紙をまた入れたりですとか、必ずしも徴収につながるということではないのですが、個別訪問や電話による催告を行い、徴収力アップにつなげようとしているところです。

○委員 白井市は、かなりいいほうだとは思いますが。

○事務局 現年度分については、いいほうだと思います。

○委員長 よろしいですか。

多分、過年は、積みもって増えてきているのかなという気がします。

ただ、今、何年前みたいに、家庭裁判所まで持ち込むという件はないのですよね。

○事務局 そういった法的措置もするようにはしています。

○委員長 そういうケースも、まだありますか。

○事務局 令和5年度は、法的措置を取りますよという、払っていただける方が多かったので、裁判所の手続きまではなかったです。

○委員長 ほかに何かありますか。

なければ、次、進めたいと思います。

続きまして、報告事項2、学校給食費の現状について、事務局から説明をお願いします。

○事務局 それでは、報告事項の2、学校給食費の現状について説明をさせていただきます。

資料の3ページを御覧ください。

まず初めに、現在の学校給食費についてですが、市の学校給食費は、平成26年4月の改定以降、食材費の価格が上昇する中、献立の工夫や食材の選定による食材費の抑制などに努め、学校給食費を据え置いたまま給食の提供を続けてきました。しかしながら、昨今の物価高騰の影響を受け、食材費の上昇が止まらず、これまでの学校給食費では適正な献立内容を維持していくことが困難な状況であることから、学校給食費の見直しを行い、今年度、令和6年度から改定を行っております。

この給食費の改定につきましては、昨年の運営委員会でも御意見を頂いたところですが、真ん中の表にありますように、小学校500円、中学校600円増額での改定をしております。

ただ、先ほどもお話ししましたが、この増額分につきましては、保護者の負担軽減を図るため、国の地方創生臨時交付金を活用して、公費負担としております。

また、令和4年度から実施しております第3子以降の給食費無償化事業につきましても、引き続き、県の補助金を活用しながら実施しているところです。

次に、2の年間を通じて使用する給食食材の影響額についてです。

一部ではありますが、主に年間を通じて使用する給食食材について影響額を示しております。こちらの上

昇率につきましては、令和3年度からの上昇率となっております。ここでは、お米が6.5%となっておりますが、ちょうど今10月からの契約に向けて準備をしているところですが、テレビで報道されているように、お米が高くなっている状況です。それ以外の食材につきましても、また、調味料につきましても上昇していることから、できるだけ安価で良質な食材を選定し、献立作成の際には、高騰している食材の使用は、可能な限り控え、それに代わる安価な食材の使用割合を増やすなどしているところです。

次に、3の令和7年度以降の学校給食費についてです。

令和6年度に引き続き、第3子以降の給食費無償化事業につきましては、県の補助金を活用しながら実施していきたいと考えております。また、今年度は国の交付金が活用できたため、給食費の増額分については、公費負担としたところではあります。来年度以降、国の交付金が交付されるか、現在のところ未定となっております。引き続き、財源の確保に努めていきます。

また、現在、議会中ではありますが、この間の10日の一般質問の中で、給食費の無償化についての質問がありました。市長のほうから、経済的負担の大きい学年から無償化を実施するべく、令和7年度予算への反映を目指しますとの答弁がありました。完全無償化ではなく、一部無償化という形で現在、協議、検討を進めているところです。

また、こちらの進捗状況につきましては、運営委員会でも報告できたらと思っております。

報告事項2につきましては、以上となります。

○委員長 ただいまの事務局からの説明について、御意見、御質問等ございましたら、よろしくお願ひします。

○委員 考えがまとまっていないのですけれども、いいですか。白井市って多分、給食費すごい安いのですよ。昨日、会議に出席するので調べしました、印西市は今月から無償化です。

一応、ネットで見たら、小学校が290円ぐらいの中学校が350円、鎌ヶ谷市も280円の350円、八千代市が350円の370円、船橋市が250円ぐらいの330円で、白井市は、すごい安いのかなというのを感じるのですけれども、それは別に、親としてはありがたい。そして、他市と比べなくても、比較的リーズナブルにできているのかなというのを感じます。

先ほどの収納状況の累計がちょっと少ないので、もうちょっと上げて、それほど問題ないのかなと資料を見て思いました。まとまらないのですけれども、資料だとお米10キロあたり375円、1キロ当たりの間違いでよろしいでしょうか。

○事務局 失礼しました。そうですね、1キロ当たり375円ですね。

○委員 そうすると、今、多分お米って1俵1万3,000円ぐらいだと思うんです。そうすると10キロだと2,000円ぐらいで仕入れられると思うのですけれども、ちょっと仕入れが高いのかなと感じています。ごめんなさい、仕入れる場所によるのか分からないのですけれども。

○事務局 市の場合は、西印旛農協と半年ごとの単価契約をしています。令和6年度4月から9月までは1キロ当たり375円、今回10月から契約をするのですけれども、白井市産のお米で1.6倍近く上がっている状況です。

○委員 ちなみに、お米って玄米で、ここで精米しているのですか。

○事務局 精米したものです。

○委員 市場で出回っている価格よりは、ちょっと割高かなという気はします。10キロ、今お米買うと3,000円ぐらい。

○事務局 一応、給食で使っているお米が無洗米になるのですけれども、そういったものもありますかね。

○委員長 ほかにありますか。

○委員 米の値段が上がってきて、先ほど安価なものを探されるというのを伺ったので、単純に考えていくと、給食費が上がってこないようにするためには、やっぱりパン食が増えてくるのですか。お米の量が減ってしまっという感覚でしょうか。

○事務局 そこも考えたのですけれども、週に3、5回はお米というふうに皆さんにお伝えしているので、そこは変えられないかなというところで、お米につきましては、金額が上がっているので、12月補正をすることで対応しようと考えています。

○委員 御飯のほうは腹持ちがよくて午後まで頑張れるので、パンだとお腹がすいちゃうという話をよく聞くのでお米でお願いしたいです。

○事務局 はい。何とかお米では考えています。

○委員長 ほかにありますか。

お米の値段って、また上がっているじゃないですか。これがまた来年の1月ぐらいまで高い状態が続くんじゃないかと言われてますよね。

○事務局 西印旛農協の話では、今年度が異例だと、7年度以降は落ち着くのではないかと聞いております。

○委員 そうですね、現場のほうは、米騒動というような形でテレビでも報道されていますけれども、この秋に収穫したものが、この9月にほとんど農協のほうへ出荷されたものについては、生産者に1回、お金を払ってしまうので、精算は、下がったり上がったりというのは、この秋、買い入れた価格でずっと納めさせていただくような形になりますので、この先、お米が下がったからといって、生産者に払ったものは変わりませんので、このままずっといってしまうのかなというふうに思います。来年の9月までは、同じ価格で設定させていただくような形になります。

○委員長 でも、半年前からすると、大分上がっているじゃないですか。倍ぐらい高かったりする。

○委員 そうですね、スーパーさんでも売っている価格がかなり上がっていますよね。価格の高騰は来年も必ず続きます。出荷されるほうは、今、収穫されているほうは、業者の取引があると思うのですけれども、そちらのほうは若干の変動があるかとは思いますが、1回ここで、9月で収穫されたものは、給食分は全部、生産者から買い入れてしまいますので、今の価格で請求させていただくような形になります。

○委員長 厳しい状況ですね。そうすると、今後の学校給食でお米の日数を減らすとか、そういうことも考えられるのでしょうか。

○事務局 7年度以降ということですかね。令和7年度についても、今までどおりの回数ではいきたいと思っておりますので、何とか財源の確保に努めていきたいと思えます。

○委員長 できれば給食費の値上げもせずに、何とか頑張ってくださいと思います。

○事務局 そうですね。今年度値上げはしておりますので、しばらくはこのままでと考えております。

○委員長 ほかにありますか。

○委員 予算はあって、こういう状況だと、結構値段がぼんぼん上がってきちゃうときって、予算オーバーするのも怖いじゃないですか。何か対策というのはありますか。もやしとか、混ぜ御飯とか、ちょっとかさを増すみたいなのを入れることで、予算切れないようにやるのがあるみたいなのを読んだので、どういう工夫しているのかなど。

○事務局 献立の中では、野菜もいろいろあるじゃないですか。その野菜の中でも、値段があまり上昇しないものを選ぶとか、あとは、デザートを値段の張るものから安いものに変えたりとかという工夫はしないといけないですよ。

○委員 本当に難しいですよ。うちなんか、日々できちゃうのでいいのですけれども、半年後とか、そういうレベルでやるのですから、すごく読みにくいなと思って。

○事務局 なるべく質は落としたいので、食べる子供たちのために、おいしく食べてもらいたいという気持ちはあるので、なかなか難しいところでもありますよ。

○委員長 ほかに御質問はないですか。なければ、次に進みます。

次に、その他について、事務局から何かございますか。

○事務局 令和7年9月から、桜台小中学校が給食センターからの給食提供となるのですけれども、それに向けて、桜台小中学校の保護者の方を対象に試食会を計画しております。一応、今年度2回と来年度1回を予定しております。

以上です。

○委員長 それについて、何か御意見、御質問ありましたら、お願いします。

○委員 食器って白オンリーじゃないですか。白を基調として、白のだけですよ。何か殺風景なのかなど。でも、しょうがないですよ。要するに、木目とかじゃないのですけれども、白というと、病院とかそういう印象があるので、もっとお皿の色が変わっただけで、ちょっと雰囲気変わるのかななんて思ったのですけれども。多分、洗うとはげるとか、ちょっと価格が高いとかあるかもしれないのですけれども、そんな工夫もどうかと思いました。

○事務局 それぞれのお皿の上の部分に、なし坊とかおりのマークが入っています。後で、実物がこの部屋を出たところに置いてあるので、見ていただければと思います。

○委員長 変わった当初、近所の小学生に聞いたら、なし坊の絵がかわいいとか、好評でした。

○委員 ほかの市も何か独自のマスコットキャラみたいなのが入っていますか。

○事務局 鎌ヶ谷市や印西市も市のキャラクターが入っています。

○委員 成田市も、うなりくん入っていますよね。

○委員 給食食器あるあるなのですね。

○委員長 ほかに何かありますか。

今、大分暑いですが、給食そのものは、この暑さで傷んじゃうとか、そういうことはないですね。

○事務局 ありません。大丈夫です。

○委員 先ほど食器の話が出たので、桜台小学校の給食がなくなった後は、桜台小学校で使っていたような

ものというのは、どうされる予定とかというのはありますか。

○事務局 桜台小中学校で使っていた調理器具等は廃棄処分となりますが、配膳室は残りますのでそこで使うものについては、そのままとなります。

○委員長 ほかに何かありますか。

○委員 印西市が給食費無料になるじゃないですか。無理して無料にする必要はないと思います。周りがやっているから無料にと言われそうだと思うんですけども、その必要はないと思います。分からないですけども、何でもただでもらえるというのは、発想としてはあまりよくなくて、ちゃんと払ったからこそ、子供たちが分かるみたいなのも当然ある。逆に、何で印西市は、無料にしたのですか。千葉県が無料にしようとしていますか。

○委員 市川市もやっていますよね。

○委員 市川市、浦安市、小さい市町村。第3子以降無料というのは、千葉県内どの市もやっています。

○委員長 ほかになければ、この会を閉じたいと思いますが、よろしいですか。大丈夫ですか。

以上で、本日予定した案件は全て終了いたしました。皆様、御協力ありがとうございました。

それでは、事務局へお返しします。

○事務局 閉会